

令和3年10月15日

「第1回ダイバーシティ推進ワーキングチーム（女性活躍推進）」開催

（一社）日本物流団体連合会（池田潤一郎会長）は、10月13日（水）、第1回ダイバーシティ推進ワーキングチーム（女性活躍推進）を港区の東京都立産業貿易センターにて開催した。

物流業界では経営環境が目まぐるしく変化する中、ダイバーシティ経営を推進し、経営基盤を強化していく必要がある。女性の活躍が進むことで、多様な価値観、創意工夫がもたらされ、企業の成長を促すと考えられている。

このため、経営効率化委員会（委員長 外山 俊明氏 全日本空輸(株)取締役常務執行役員）に「女性活躍推進」をテーマとするワーキンググループを設置した。同ワーキングでは、講演、アンケート調査、グループ討議等を通じて、物流会員企業の現状、課題、好事例等を共有した上で、女性が個々の能力を最大限発揮出来る組織、働き方、人事制度、意識改革、キャリアパス等「ありたい姿」について検討を行う。

座長には、東京女子大学教授 二村 真理子氏が就任し、経営効率化委員会委員企業・団体のメンバーを中心に 19社・団体、25名が参加した。

第1回ワーキングチームでは、事務局より、「調査検討の内容と今後の進め方」、「物流業界における女性活躍の現状」、「アンケート調査票案」等について説明を行った。

このほか、各参加メンバーより、各社の現状、課題、当ワーキングチームへの要望等について説明があった。主なものとしては、女性が働きやすい職場環境・施設改善の必要性、無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）の排除、ライフイベントによるM字カーブ問題、女性が活躍できる部署、女性営業職の登用開始等についてのコメントがあり、事務局として、これらを踏まえて今後の調査検討を進めていく。

当ワーキングチームは、2022年9月頃まで 計7回程度の開催を予定しており、次回は、2021年12月1日の開催を予定している。

以上
事務局 関谷

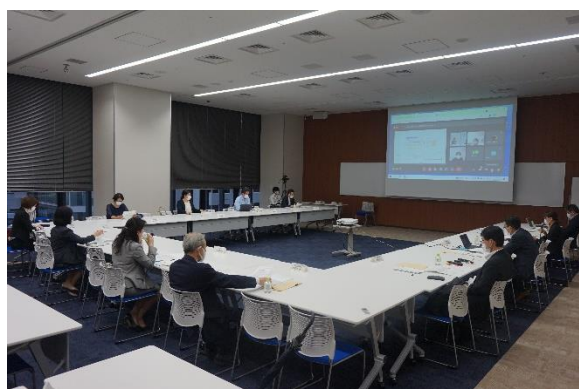
当日の会場風景



二村 真理子座長



伊勢川事務局長



全体風景



Web 参加者 (PC スクリーン上)